

改正

国定教科書はいかに売られたか

近代出版流通の形成

明治期書店販売関係資料付

發兌

高美書屋

徴兵令

第一章 總則

第一條 全國の男子年齢満十七歳より滿四十歳迄

に總て兵役を服せしむるものとす

〔註〕十七歳から四十歳までは男と軍に出るものと

先づ

第二條 兵役は陸軍海軍共に常備兵役後備兵役及

臨時兵役

明治三十六年、教科書の国定化。

全国一律、津々浦々に知識を届ける仕組みは、出版流通の基礎をつくった。

明治期の書店から、近代出版流通の実態にせまる！

和田敦彦編

ひつじ書房



【図1】受持学校三年間貸高比較表

二 高美書店の商圈

前節では高美書店の環境を都市圏とのつながりのなかで確認してみたが、本節では高美書店が活動した地域に焦点をあててみたい。高美書店はどのような商圈を有し、どのような営業をしていたのだろうか。

高美書店教科書関係資料『取扱事務綴込』には「使用ズミ帖簿類」の一覧が収められており、「商用日記」「註文品扣帳」など一三種が挙げられている。そのほか「使用ズミ帖簿書類 雑之部」には「重用書類」「諸印刷物見本」など一三種があり、取扱商品や買い手に応じて分類・記録されていたようだ。おなじく高美書店教科書関係資料『注文扣帳 其七』は明治四三（一九一〇）年五月八日から明治四四年二月一日までの受注・発送状況を記録したもので、これは、先ほどの「使用ズミ帖簿類」のうち「註文品扣帳」にあたるものかと思われる。後掲【表1】は、この『注文扣帳 其七』のうち明治四三年五月受注分をまとめたもので³⁾、学校および学校関係者からの注文を記録した帳簿であったことがうかがえる。ただし、同資料は高美書店全体の受注・発送状況を記したのではなく一店員担当分の帳簿なのだが、このことについては後述する。

【図1】は、前掲『取扱事務綴込』所載の「受持学校三年間貸高

知識はいかに届けられてきたか？
現在、書店や図書館が担う、地方への
知識の流通網、その成り立ちに迫る。

■日本の近代において、教科書というメディアが果たした役割は大きい。特に国定教科書は、全国に及ぶ販売、流通網を形成し、近代の出版、教育、文化と、多方面に幅広い影響を与えていった。

■国定教科書の販売・流通網は明治期から整備されていった。当時の書店の取引や契約の資料を利用することで、明治期からの出版流通の実態を分析する。

■長野県松本市の高美書店からみつかった明治期の契約書など、貴重な一次資料を翻刻して収録。教育史やメディア史、文化史を研究するうえで、貴重な基礎資料ともなる。翻刻資料総頁数は一四一頁！（本書全三五二頁中の約四割）

【編者紹介】

和田敦彦 早稲田大学教育・総合科学学術院教授。

一九六五年高知県出身。著書に『メディアの中の読者』（ひつじ書房、二〇〇二年）、『書物の日米関係』（新曜社、二〇〇七年）がある。

【目次】

凡例／翻刻資料一覧

第一章 教科書史、その資料と歴史の空白

和田敦彦

第二章 高美書店の風景

磯部敦

第三章 「特約販売所」としての高美書店

中野綾子

第四章 国定教科書特約販売所としての地方書肆

柴野京子

第五章 教科書販売は儲かるのか

小関有希

第六章 国定教科書取次販売所における取引現場を辿る

河内聡子

第七章 遅れる教科書

甲斐伊織

第八章 国定教科書流通の地理的空間

小林雄佑

第九章 国定教科書時代の各販売所記録

八木万祐子

参考文献一覧／あとがき／資料目録

国定教科書はいかに売られたか

近代出版流通の形成 明治期書店販売関係資料付



和田敦彦編
定価 八、八〇〇円＋税
ISBN 978-4-89476-561-0
A5判上製カバー装

ご注文書

■国定教科書はいかに売られたか 冊

定価 8,800 円＋税 ISBN978-4-89476-561-0

お名前

ご住所 〒

お電話番号

メールアドレス

【書店名】



ひつじ書房

〒112-0011 東京都文京区千石2-1-2 大和ビル2F

http://www.hituzi.co.jp/ tel: 03-5319-4916 fax: 03-5319-4917

○お近くの書店にてお申し込みください

○書店様へ この用紙で店頭用をご注文下さいます場合は、返品条件付きです。返品の際は海老澤了解を伝票にご明記のうえでお戻し下さい。

【取次】トーハン・日販・大阪屋・太平洋・八木書店・日教販・地方小